

BOOK『売上管理.xls』を使ってIF関数を体験しましょう

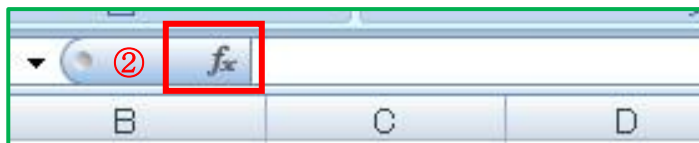
	A	B	C
1	売上管理		
2		売上個数	評価
3	佐藤	45	①
4	山田	28	
5	高橋	31	
6	吉田	40	
7	村上	25	

左のような表があって、条件によって  
評価欄に「達成」「未達成」という  
言葉を表示したい時は条件によって  
表示を変えるIF関数を使います。

「評価」のセルに  
もし「売上個数」が30以上だったら  
【達成】と表示し、そうでなければ  
(30未満だったら)【未達成】  
と表示する

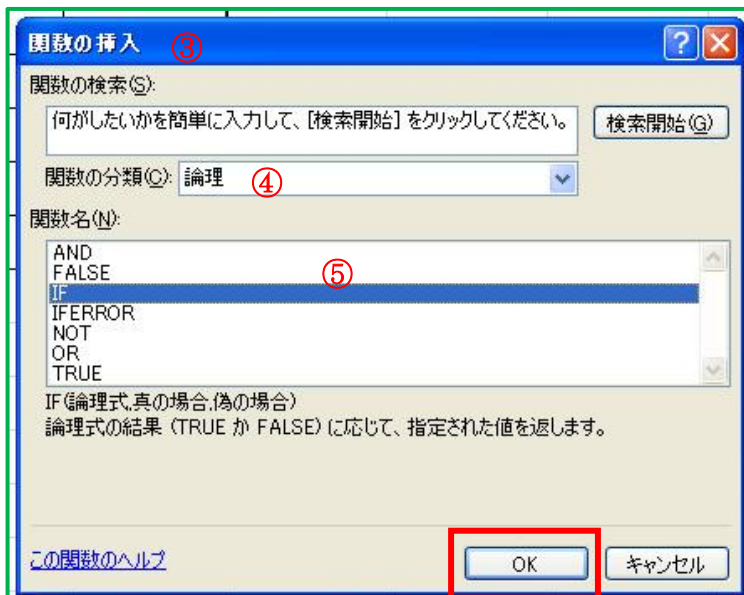
今回は例として、左のような設定を  
してみます。  
売上個数に応じて「達成」「未達成」  
どちらの言葉を表示させるのか、Excel  
に判断してもらうわけです。

操作方法



①セル【C3】を選択(クリック)します

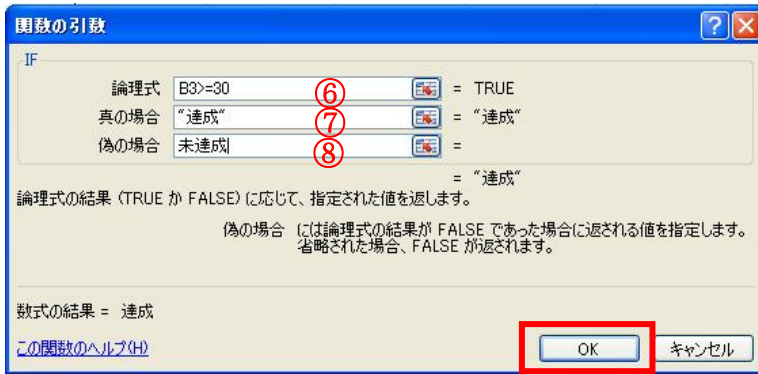
②「関数の挿入」ボタンをクリックし



③関数の挿入ダイアログボックスを表示  
させます

④関数の分類のドロップダウンリストから  
「論理」を選択

⑤関数名で「IF」を選択  
「OK」ボタンをクリック



⑥論理式のボックスに

「B3>=30」と入力し「TAB」キーを押す

**ヒント** 論理式のボックス内にカーソルを表示させてから

セル【B3】をクリックした後「>=30」と入力

⑦真の場合ボックスに「達成」と入力し「TAB」キーを押す

※「達成」に自動で変わります

⑧偽の場合ボックスに「未達成」と入力し「OK」ボタンをクリック

※「未達成」に自動で変わります

	A	B	C	D
1	売上管理			
2		売上個数	評価	
3	佐藤	45	達成 ⑨	
4	山田	28		
5	高橋	31		
6	吉田	40		
7	村上	25		

⑨セル【C3】に「達成」と表示されます

	A	B	C
1	売上管理		
2		売上個数	評価
3	佐藤	45	達成
4	山田	28	未達成
5	高橋	31	達成
6	吉田	40	達成
7	村上	25	未達成
8			

⑩セル【C3】の関数をセル【C4】からセル【C7】にコピーします

**ヒント** セル【C3】からセル【C7】に向かってオートフィルを実施します